

モモ (1986)

MOMO

メディア 映画
ジャンル ファンタジー
製作国 西ドイツ／イタリア
色彩 Color
時間 105分
初公開日 1988/07/16
公開情報 朝日新聞社＝ヘラルド提供／ヘラルド＝ヘラルド・エース

【解説】
あのミヒャエル・エンデの「ネバーエンディング・ストーリー」に続く同名小説の映画化。ある村に突然と姿をあらわした妖精モモ。村の人達は魅力溢れる彼女を村に住ませようと家を建てて歓迎する。やがて勇気と優しさで村人達に接するモモは、日毎に村の大人にも子供にもなくてはならない存在となっていた。そして安堵に包まれた楽しい村の生活は終わることのないものに思われたが……。童話の形をとりながら、“時間”が空費され本来誰もが持っている好奇心、知識欲、ファンタジーの追求が時間のムダとして決めつけられてしまう現代に警鐘を鳴らすというテーマが作品の軸としてその根底に流れているところはさすがエンデといった感じ。だが「ネバー～」に比べると映画の躍動感に欠け、原作の持っている創造性をいまいち生かしきれてないといった感じもする。

ミヒャエル・エンデ

Michael Ende

列車の男

(クレ
ジット
なし)